

第2章

羽村市まち・ひと・しごと創生 計画

第1節 創生計画の趣旨

1 趣旨

日本社会全体の大きな問題となっている人口減少と少子高齢化が急速に進展する中で、全国の自治体では、働き手・担い手となる若者の減少や地域の賑わいの喪失等が生じており、定住促進を図ることは共通する喫緊の課題となっています。

羽村市長期人口ビジョンにおける人口動態等の分析では、若い世代の人口の流出が生じており、男性よりも女性の流出割合が高くなっています。羽村市が将来に渡って、賑わいと活力のある街であるためには、若い世代の生活の場として選択される必要があります。これまでのまちづくりの歴史を踏まえ、若い世代を含めた全ての方々にとって、魅力ある「羽村らしさ」を打ち出していくことが求められています。

そのため、羽村市は地方創生を前面に打ち出し、若い世代をターゲットに地方創生施策を展開していくことで、認知度を向上させ、定住人口を増加させることを目的とする「羽村市まち・ひと・しごと創生計画」を策定します。

2 創生計画の位置づけ

創生計画は、喫緊の課題である人口減少問題等に対応し、羽村市の地方創生を成し遂げていくため、第五次羽村市長期総合計画の分野別計画に位置付け、他の個別計画との整合を図りながら推進していきます。

3 計画期間

計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とし、必要に応じた見直しを行います。

4 計画人口

羽村市長期人口ビジョンにおいて、平成72年（2060）の目標人口を50,000人とします。

5 計画のフォローアップ

実施した施策・事業の効果等について、PDCAサイクルを徹底し、外部有識者（産学官金労言）等を含めた検証機関による数値目標等の達成状況の検証を行います。